

# 新規採用・削除医薬品等通知

## 新規採用医薬品通知

〔薬品名〕	ラツーダ錠 20mg・40mg	劇 市販直後調査;令和2年6月～令和2年12月
〔英名〕	Lurasidone Hydrochloride	
〔規格・含有量〕	1錠中ルラシドン塩酸塩 20mg・40mg	
〔一般名〕	ルラシドン塩酸塩	
〔メーカー名〕	大日本住友製薬株式会社	
〔薬価収載日〕	2020年5月	
〔薬価〕	20mg; 178.70円 40mg; 328.90円	
〔薬効コード〕	1179	
〔薬効分類名〕	抗精神病薬/双極性障害のうつ症状治療薬	
効能・効果	<input type="radio"/> 統合失調症 <input type="radio"/> 双極性障害におけるうつ症状の改善	
用法・用量	<p>〈統合失調症〉</p> <p>通常、成人にはルラシドン塩酸塩として40mgを1日1回食後経口投与する。</p> <p>なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日量は80mgを超えないこと。</p> <p>〈双極性障害におけるうつ症状の改善〉</p> <p>通常、成人にはルラシドン塩酸塩として20～60mgを1日1回食後経口投与する。</p> <p>なお、開始用量は20mg、増量幅は1日量として20mgとし、年齢、症状により適宜増減するが、1日量は60mgを超えないこと。</p>	
禁忌	<ol style="list-style-type: none"> <li>昏睡状態の患者[昏睡状態が悪化するおそれがある。]</li> <li>バルビツール酸誘導体等の中樞神経抑制剤の強い影響下にある患者[中樞神経抑制作用が増強される。]</li> <li>CYP3A4を強く阻害する薬剤(アゾール系抗真菌剤(イトラコナゾール、ボリコナゾール、ミコナゾール(経口剤、口腔用剤、注射剤)、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ポサコナゾール)、HIVプロテアーゼ阻害剤(リトナビル、ロピナビル・リトナビル配合剤、ネルフィナビル、ダルナビル、アタザナビル、ホスアンブレナビル)、コビシスタットを含む製剤、クラリスロマイシン)を投与中の患者</li> <li>CYP3A4を強く誘導する薬剤(リファンピシン、フェニトイン)を投与中の患者</li> <li>本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者</li> <li>アドレナリンを投与中の患者(アドレナリンをアナフィラキシーの救急治療に使用する場合を除く)</li> </ol>	
相互作用	<p><b>作用増強のおそれ</b> CYP3A4を強く阻害する薬剤</p> <p>アゾール系抗真菌剤;イトラコナゾール(イトリゾール)、ボリコナゾール(ブイフェンド)、ミコナゾール(経口剤、口腔用剤、注射剤)(フロリード、オラビ)、フルコナゾール(ジフルカン)、ホスフルコナゾール(プロジフ)、ポサ</p>	

	<p>コナゾール(ノクサフィル)</p> <p>HIV プロテアーゼ阻害剤;リトナビル(ノービア)、ロピナビル・リトナビル配合剤(カレトラ)、ネルフィナビル(ビラセプト)、ダルナビル(プリジスタ)、アタザナビル(レイアタツ)、ホスアンプレナビル(レクシヴァ)</p> <p>コビススタットを含む製剤;(スタリビルド、ゲンボイヤ、プレジコビックス、シムツーザ)</p> <p>クラリスロマイシン(クラリシッド)</p> <p><b>作用減弱のおそれ</b> CYP3A4 を強く誘導する薬剤;リファンピシン(リファジン)、フェニトイン(アレビアチン)</p> <p><b>重篤な血圧降下のおそれ</b> アドレナリン(アナフィラキシーの救急治療に使用する場合を除く)(ボスミン)</p>
副作用	<p><b>重大な副作用</b> 悪性症候群(頻度不明)、遅発性ジスキネジア(1%未満)、痙攣(頻度不明)、高血糖(1%未満)、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡、肺塞栓症、深部静脈血栓症、横紋筋融解症、無顆粒球症(いずれも頻度不明)、白血球減少(1%未満)</p> <p><b>その他</b> アカシジア(静坐不能)(8.6%)</p>

(薬品名)	コレクチム軟膏 0.5%	市販直後調査;令和2年6月~令和2年12月
(英名)	Delgocitinib	
(規格・含有量)	1g 中デルゴシチニブ 5mg	
(一般名)	デルゴシチニブ	
(メーカー名)	鳥居薬品株式会社	
【薬価収載日】	2020年4月	
【薬価】	139.70 円/g	
【薬効コード】	2699	
【薬効分類名】	外用ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤	
効能・効果	アトピー性皮膚炎	
用法・用量	通常、成人には、1日2回、適量を患部に塗布する。なお、1回あたりの塗布量は5gまでとする。	
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	
相互作用	なし	
副作用	5%以上 なし	

## 削除医薬品通知

オーラップ錠 1mg	8/4 削除
ソフラチュール貼付剤 30cm	8/4 削除

## 後発医薬品採用通知

変更後	変更前
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>8月4日より</u></li> <li>ハロペリドール錠 0.75mg「アメル」</li> <li>ハロペリドール錠 1.5mg「アメル」</li> <li>マプロチリン塩酸塩錠 10mg「タカタ」</li> <li>マプロチリン塩酸塩錠 25mg「タカタ」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セレネース錠 0.75mg</li> <li>セレネース錠 1.5mg</li> <li>ルジオミール錠 10mg</li> <li>ルジオミール錠 25mg</li> </ul>

## 容器変更医薬品通知

変更後	変更前
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>在庫消尽後</u></li> <li>マンニトールS注射液 プラスチックバッグ(PE製)</li> </ul>	マンニトールS注射液 ポリプロピレン製ボトル容器

## 適応追加通知

<p>オノアクト点滴静注用 50mg</p>	<p><b>【効能・効果】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>手術時の下記の頻脈性不整脈に対する緊急処置:心房細動、心房粗動、洞性頻脈</li> <li>手術後の循環動態監視下における下記の頻脈性不整脈に対する緊急処置: 心房細動、心房粗動、洞性頻脈</li> <li>心機能低下例における下記の頻脈性不整脈:心房細動、心房粗動</li> <li>生命に危険のある下記の不整脈で難治性かつ緊急を要する場合: 心室細動、血行動態不安定な心室頻拍</li> <li>敗血症に伴う下記の頻脈性不整脈:心房細動、心房粗動、洞性頻脈</li> </ol> <p><b>【用法・用量】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.~4. 省略</li> <li>5.敗血症に伴う下記の頻脈性不整脈:心房細動、心房粗動、洞性頻脈 ランジオロール塩酸塩として、1 <math>\mu\text{g}/\text{kg}/\text{min}</math> の速度で静脈内持続投与を開始する。投与中は心拍数、血圧を測定し、維持量は適宜増減する。ただし、最大用量は20 <math>\mu\text{g}/\text{kg}/\text{min}</math> を超えないこと。</li> </ol>
----------------------------	---

サムスカOD錠	【効能・効果】
7.5mg	1. ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な心不全における体液貯留
15mg	2. ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な肝硬変における体液貯留
	3. 腎容積が既に増大しており、かつ、腎容積の増大速度が速い常染色体優性多発性のう胞腎の進行抑制
	4. 抗利尿ホルモン不適合分泌症候群における低ナトリウム血症の改善
	【用法・用量】
	1.～3. 省略
	4. 抗利尿ホルモン不適合分泌症候群における低ナトリウム血症の改善
	通常、成人にはトルバプタンとして7.5mgを1日1回経口投与する。必要に応じて、望ましい血清ナトリウム濃度に達するまで段階的に増量できる。なお、患者の状態により適宜増減するが、最高用量は1日60mgまでとする。

フェントステープ	【効能・効果】
0.5mg	非オピオイド鎮痛剤及び弱オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記における鎮痛
1mg	(ただし、慢性疼痛は他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合に限る。)
2mg	○中等度から高度の疼痛を伴う各種がん
6mg	○中等度から高度の慢性疼痛
	【用法・用量】
	通常、成人に対し胸部、腹部、上腕部、大腿部等に貼付し、1日(約24時間)毎に貼り替えて使用する。
	初回貼付用量は本剤貼付前のオピオイド鎮痛剤の治療有無により、下記のとおり選択する。
	その後の貼付用量は患者の症状や状態により適宜増減する。
	〈がん疼痛〉
	本剤貼付前にオピオイド鎮痛剤を使用していない場合、0.5mgより開始する。
	他のオピオイド鎮痛剤から本剤に切り替えて使用する場合、本剤貼付前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法及び用量を勘案して、0.5mg、1mg、2mg、4mg、6mgのいずれかの用量を選択する。
	〈慢性疼痛〉
	他のオピオイド鎮痛剤から本剤に切り替えて使用する。本剤貼付前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法及び用量を勘案して、0.5mg、1mg、2mg、4mg、6mgのいずれかの用量を選択する。